

こんなとき、どうする？

じぶん み じぶん まも
—自分の身を自分で守ろう—
れいわ ねんどばん
令和 7 年度版

わたしたちのまわりにある危険をさけるためには、いざという
ときの「自分の身の守り方」を知っておくことが大切です。
とも いえ ひと かんが
友だちや家の人と「こんなとき、どうする？」か考えてみま
しょう。

「いかのおすし」

困ったときや危険を感じたときには、

- いかない
- のらない
- おおごえをだす
- すぐに行げる
- しらせる

「いかのおすし」とおぼえましょう

こんなとき、どうする？ ①

しんごう

おうだんほどう

わた

Q：信号や横断歩道を渡るとき

あおしんごう まも

おうだんほどう わた

ぜったい あんぜん

A：青信号を守っていても、横断歩道を渡っていても、絶対に安全とい

うわけではありません。むりやり横断歩道に入ってくる車、歩いてい
 ひと き づ うんてんしゅ
 る人に気付かない運転手がいるかもしれません。

みぎ ひだり

み くるま

うんてんしゅ

じぶん

右と左をしっかりと見て、車がとまっているか、運転手さんが自分
 き づ かくにん て わた
 に気付いているかを確認してから、手をあげて渡りましょう。

しんごう おうだんほどう
 信号や横断歩道では、どうしたら安全に渡ること
 とも いえ ひと はな あ
 ができますか。友だちや家人の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ②

せいかつかんせん
生活安全

こうえん ひろば あそ
Q：公園や広場などで遊ぶとき

いえ ひと いっしょ あそ とも なまえ あそ ばしょ つた で
A：家人には、一緒に遊ぶ友だちの名前と遊ぶ場所を伝えてから出かけましょう。また、帰る時刻を家人と約束をして、必ず守りましょう。

そと あそ い まも
外に遊びに行ったらどのようなことを守ればよい
でしょうか。家人と約束を話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ③

せいかつかんせん
生活安全

し ひと こえ
Q：知らない人に声をかけられたとき

なに い ことわ
A：「何かあげる」と言われても、はっきりと断り、ついていってはいけません。おも
けません。こわいと思ったら、「こどもをまもろう110番」の家や
ちか みせ おおごえ だ ぼうはん つか
近くのお店ににげこんだり、大声を出したり、防犯ブザーを使ったり
ちか おとな たす もと いえ かえ
するなどしながら、近くの大人に助けを求めましょう。家に帰ったら、
し ひと こえ いえ ひと はな ばんつう
知らない人に声をかけられたことを家の人にすぐに話し、110番通
ほう ふだん ひとどお おお みち ある
報しましょう。普段から人通りの多い道を歩くようにしましょう。

し 知らないひと こえ
知らない人に声をかけられたら、どうしたらよ
とも いえ ひと はな あ
いでしょう。友だちや家人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ④

せいかつかんぜん
生活安全

いえ はい

Q：家に入るときや、ひとりでいるとき

いえ はい

A：ひとりで家に入るときは、まわりに「へんだなあ」と思う人がいな

おも ひと

たし
いか確かめてから、かぎをあけましょう。

し ひと き いえ い

知らない人が来ても、家には入れないようにしましょう。

いえ ゆうびん たくはいびん
ひとりで家にいるときに郵便や宅配便な

はいたつ
どが配達されたらどうしたらよいでしょう。
とも いえ ひと はな あ

友だちや家の人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ⑤

し ひと でんわ
Q：知らない人から電話がかかってきたとき

し ひと じぶん とも じゅうしょ でんわばんごう おし
A：知らない人には、自分や友だちの住所・電話番号などを、教えては
いけません。（知り合いのふりをしていることも考えられます。）

い
しつこくたずねられたり、こわいことを言われたりしたら、「わか
りません」「これで切れます」と言い、電話を切りましょう。また、
このようないい電話があったら、必ず家の人人に知らせましょう。

じゅうしょ でんわばんごう おし
「〇〇さんの住所と電話番号を教えて」など
と電話がかかけました。どうしたらよい
ですか。友だちや家人と話し合いましょう。



こんなとき、どうする？ ⑥

くるま の ひと こえ
Q：車に乗った人から声をかけられたとき

し ひと くるま ぜったい の みち き くるま ちか
A：知らない人の車には絶対に乗らないこと。道を聞かれたら、車に近

おし くるま の よらないで教えましょう。むりやり車に乗せられそうになったら、す

おおごえ だ ぼうはん な ちか ひと たす もと
ぐ大声を出すか防犯ブザーを鳴らして近くの人に助けを求めたり、

ばん いえ みせ ひと し
「こどもをまもろう110番」の家やお店の人に知らせたりしましょう。

くるま の し ひと いえ ひと
車に乗った知らない人に「家の人がけがを
したからすぐに車に乗りなさい」と言われま
した。どうしたらよいですか。友だちや家の
ひとはな あ
人と話しましょう。



保護者の皆様へ

各地で子どもたちが巻きこまれる事件や交通事故などが後を絶ちません。子どもの生活・交通安全対策は、学校、家庭だけでなく、地域をあげて取り組まなければならない課題です。また、子どもたちにも、自分の身の安全について考え、行動できることが求められています。

この資料では、いくつかの事例をあげ、基本的な対応方法を示しました。何か困ったことが起きる前に、日頃からお子さんとぜひ「自分の身の守り方」について話し合ってください。



こどもをまもう 110番



足立区青少年問題協議会
足立区青少年対策地区委員会
足立区町会・自治会連合会
足立区・足立区教育委員会
千住・西新井・綾瀬・竹の塚警察署
足立区立小学校・中学校 P T A

「こどもをまもう110番」のステッカーがお店や個人宅などに、貼られています。ここは、子どもが不審者に遭遇した時などに、とっさに逃げ込める場所です。

(足立区教育委員会 青少年課)

